

和歌山への私の提言

交換留学生

宋アヘイ

10123004

私は四月に和歌山へ勉強に来てもう四ヶ月になる。この間、和歌山での生活を体験して、和歌山の美しさをよく知ることができた。

私が生まれたのは済南である。済南は山東省の中心で、他の地域より人口が密集している。会社や商店そして飲食店などが集まっていて、にぎやかで、交通も便利である。生活の拠点として恵まれた都市である。しかし、このような生活環境であれば、皆忙しくて、心のゆとりがなく、木々の緑もあまり多くない。

私は日本に来て心が奪われるのは自然の美しさであった。関西空港から和歌山への車中で外を見ると、山や川は緑がいっぱいだだったので、不安や心配は軽減され、気持ちは晴れやかになった。初めてこちらに来て、とても新鮮なものばかりでした。よく友達と一緒に自転車であちらこちらへと行った。自然に囲まれた環境で毎日楽しい生活を送った。これら

は和歌山に来る前は体験できなかった、私にとっては想像もできないくらい珍しいことばかりである。

和歌山はとても静かな町である。道を歩く人は少なく、若者は少ないと思う。夜になると、店は早く閉店し、散歩する人もあまり多くない。私から見れば、この人は毎日ゆったりした生活を送っている。済南より生活のリズムはゆっくりなので、心のゆとりがあり、このような環境で生活すできたのは、よかったと思う。

しかし、不便だと思う時もあった。例えば、夜の道で自転車に乗ると、道は暗いので、危ないである。街灯を増やすといいと思う。そして、ショッピングセンターも少なく、服を買うとき不便だと思う。ショッピングセンターを増やすと、生活はもっと便利になると思う。

しかし、自然の中にいると、自然と心が落ち着いて、寂しさも忘れる。自然は資源としてだけでなく、私たちの心も惜しみなく穏やかにしてくれる。このような和歌山に来て、とても幸せだと思う。和歌山の山や川や緑などがいつまでもこのままであるように、みんな一緒に頑張ろう！

